

2021年 11月 14日 《 聖 餐 式 》

主 日 礼 拝

①8:30am ②10:30 ③1:30pm ④7:00

司 会 ②石井 秀人兄

奏 楽

祈 禱 ②松岡 清枝姉

賛 美 聖歌616番 ～心が疲れた時～

ヤベツの祈り

聖書朗読 サムエル記上16章14～18節

特別賛美 大和聖歌隊/WINGS/サインダンス

メッセージ 「賛美は力ある神の武器」

石井 潤 牧師

聖 餐 式 賛美「主イエスの十字架の血で」

献 金 聖歌229番 ～アメイジング・グレイス～

祝 禱

お知らせ 〔司会者〕

賛 美 ～喜びがある～

☆礼拝にお越しくださった皆様に心よりご歓迎いたします!☆
《今週のお知らせ》

★本日も礼拝の恵みを心より感謝致します。今週も主の守り、祝福を祈ります!

本日の午後1時～、執事会を行います。今後の教会の予定について。

☆今週の祈り会は ○早天祈禱会：明朝6時。 ◎祈禱会：①木曜朝10時半～

②夜7時半～（大和の祈禱会映像）。○準備祈禱会：土曜夜8時。

★木曜午後2時～、上田市大手の石井兄姉宅にて家庭集會が行われます。

☆来週は収穫感謝礼拝。その後、大掃除を行います。〈司：白川兄／祈：石井兄〉。

☆一年に一回聖書を完読できる! Bible Reading Plan [11/14- /21]

| Date | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|------|-------------|--------|---------|--------|---------|--------|-------|-------|
| 旧約 | エゼキエル 1-3 | 4-6 | 7-9 | 10-12 | 13-15 | 16 | 17-18 | 19-20 |
| 新約 | ヘブル 10:1-18 | :19-39 | 11:1-16 | :17-40 | 12:1-13 | :14-29 | 13 | ヤコブ 1 |
| チェック | 〇〇〇〇 | 〇〇〇〇 | 〇〇〇〇 | 〇〇〇〇 | 〇〇〇 | 〇〇 | 〇〇〇 | 〇〇〇 |

「賛美は力ある神の武器」

～悪霊を退散させたダビデの豎琴～

「獄吏は…ふたりを奥の獄屋に入れ、その足に足かせをしっかりとかけておいた。真夜中ごろ、パウロとシラスとは、神に祈り、さんびを歌いつづけた…。ところが突然、大地震が起って、獄の土台が揺れ動き、戸はたちまち開いて、みんなの者の鎖が解けてしまった。」使徒行伝16章24—26節

サムエルから油を注がれたダビデは、サウル王のもとに召し出されて、悪霊によって苦しんでいるサウルのために琴を奏でて、その心を癒やす使命を与えられました。

「主から来る悪霊」と記されていますが、神様が悪霊を与えるものではありません。すべての支配は神様の手の中にありますが、神様に従わなくなってしまったサウルの中にはもう神様はおられませんでした。その空いた心の部分に、悪魔が入り込むこととなったのです。自分の力ではなく、王国は神様の支配の中にあつた訳なので、その神様がおられなくなった王の心を悪魔が利用して、王国を滅ぼそうとねらっていたのです。神の民イスラエルを滅ぼしたいと願った悪魔はこのチャンスをもにしようと、その支配者を苦しめて、国を立ち行かないように導き始めていました。しかし、どうして、ダビデが召されたのでしょうか？琴を上手に奏でる者で、神に従う奏者は他にも幾らでもいたでしょう。しかし、この時にダビデが選ばれ、王に仕えるようになりました。サムエルから油を注がれた時から、ダビデがやがてイスラエルの王となるための訓練が始まったのです。しかも、これからの訓練の道は長く続きます。

ダビデを見つけた家来である若者はダビデを次のように紹介しました。「わたしはベツレヘムびとエッサイの子を見ましたが、琴がじょうずで、勇気もあり、いくさびとで、弁舌にひいで、姿の美しい人です。また主が彼と共におられます」と。ダビデは若者たちの中で結構有名な、名の知れた存在で、人々に慕われ尊敬されていた存在だったのかもしれませんが。何よりも、「主が彼と共におられます」と言わせたほどに、主を信じ、主を恐れ、主に従っていた存在であったことを他者が認めるほどの人物でした。

サウルはダビデを愛して、自分に仕えるように父エッサイに求めました。そして、ダビデに自分の武器を管理する若者として仕えさせました。しかし、この時のダビデの武器は豎琴でした。悪霊がサウルを苦しめる時に、ダビデが琴を手にとりて奏でると悪霊は退散していきました。ダビデの演奏を通して霊的な力が働き、悪霊の力からサウルを癒やし、解放しました。

音楽には単なる芸術という以上に、霊的な力があるとも言えます。しかし、それ以上にイスラエル人の音楽はイコール、神様への賛美でもありました。主を礼拝し、主を賛美することは悪魔が最も嫌がる世界。ダビデはまさにその世界を表現しました。悪魔は主への賛美が溢れている所にとどまることはできません。私たちもダビデのように、大胆に、積極的にどんなときにも主を礼拝し、主を賛美する者となり、勝利者となることができます！

大川牧師が感動して何度も語られた例話の中で、牧会で行き詰まったジャック・ハイフォード牧師が礼拝堂で賛美を捧げ続けました。そうすると、教会の霊的な空気が変わり、新しい領域へと導かれたお話をなさったことがあります。私たちも何か壁にぶち当たって、行き詰まった時には大胆に主を礼拝し、主を賛美することで勝利を勝ち取っていきましょう！